

<p>I. 牧養することは、羊の群れに対してすべてを含む優しい顧みを行なうことです: <u>ヨハネ 21:16</u> イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を牧養しなさい」。 <u>使徒 20:28</u> あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された神の召会を牧養させるのです。</p>	<p>A. 牧養は、羊のすべての必要を顧みることを指しています。 <u>詩 23:1</u> エホバは私の牧者であって、私には欠けるものはありません。2 彼は私を緑の牧場に伏させ、憩いの水辺に私を伴われます。3 彼は私の魂を回復し、彼の御名のために、私を義の途に導かれます。4 たとえ、死の影の谷を歩いても、私は災いを恐れません。あなたが私と共におられるからです。あなたの棒とあなたの竿、それらが私を慰めます。5 あなたは私の前に私の敵の前で、宴席を設け、私の頭に油を塗ってください。私の杯は満ちあふれています。6 私の命の日の限り、必ず良きものと慈愛が私を追いかけて来ます。私は日々いつまでもエホバの家に住みます。 B. すべての羊は、十分に供給され、よく顧みられる必要があります。</p>
<p>II. エゼキエル書第 34 章において、主ご自身は牧者として来てご自身の羊を捜し、尋ね出します: <u>エゼキエル 34:11</u> まことに、主エホバはこう言われる。見よ、私自ら、私が私の羊を捜し、尋ね出す。12 牧者が昼間、散らされている自分の羊の間にいるとき、自分の羊の群れを捜し出すように、私は私の羊を捜し出す。私は彼らを、雲と濃い暗やみの日に散らされたすべての所から救い出す。13 私は彼らをもろもろの民から連れ出し、国々から集めて、彼らの地へともたらす。そしてイスラエルの山々の上、小川のほとり、またその地の人の住むすべての所で彼らを養う。</p>	<p>A. 主は、私たちを未信者の間から連れ出して、ご自身へもたらします。 B. 彼は私たちを私たち自身の地にもたらします。その地は、カナンの良い地としてのキリストを表徴します。 C. 彼は私たちを高い山に連れ戻します。高い山は、復活し昇天したキリストを表徴します。 D. 彼は私たちを小川にもたらします。小川は、命を与える霊の生ける水を表徴します。 E. 彼は小川のほとりで羊の群れを養います。これは、彼がご自身の豊富をもって私たちを養うことを表徴します。 F. 彼は私たちを良い豊富な牧場にもたらします。牧場は、私たちの命の供給としてのキリストを表徴します。<u>エゼキエル 34:14</u> 私は良い牧場で彼らを養う。彼らの住まいはイスラエルの高地の山々の上にある。そこで彼らは良い住まいに伏し、肥えた牧場で、イスラエルの山々の上で草を食べる。 G. 彼は私たちを伏させ、私たちに内側の安息を与えます。 <u>エゼキエル 34:15</u> 私が自ら私の羊の群れを牧養し、彼らを伏させると、主エホバは告げられる。 H. 彼は傷ついた者を包み、病んでいる者を力づけます。これは彼が心の傷ついた者や病んでいる者を包み、いやすことを表徴します。 <u>イザヤ 61:1</u> 主エホバの霊が私の上にある。エホバが私を油塗られたゆえに、苦しんでいる者に良い知らせをもたらし、心の砕けた者の傷を包むために、彼は私を遣わされた。捕らわれ人に自由を告げ知らせ、縛られている者の目を開かれることを告げ知らせ、 I. 主は私たちの間で義なる裁きを執行し、不義なものをすべて一掃します。 J. キリストは真のダビデ、真の牧者であり、ひとりの牧者として立てられて、私たちを養い、私たちを満たし、満足させます: 1. 彼は私たちを顧みます。その顧みは、私たちの問題、責任、私たちの生活のあらゆる面を含みます。 2. 主が私たちの牧者として私たちを顧みることの結果、私たちは私たちの王としての彼に従い、彼の王職の下に服します。 3. 私たちは主の牧養を経験し、彼の王職の下にとどまるとき、彼の平安の契約を享受し、もはや霊的な問題や妨害を受けません。 4. 彼の牧養の下で、すべての邪悪な獣、邪悪な人は、主の回復された民から追い払われます。 5. 彼は私たちのすべてのくびきの横木を、罪やこの世のくびきを含めて壊し、私たちをあらゆる種類の奴隷状態から救い出します。 6. 彼は、私たちが敵の餌食にならず、平安と安全の中に住むことを約束します。 K. 彼は私たちを他の人々に対する祝福の源とならせます。それによって彼らは、祝福の大雨また名のある植物としての彼をもって供給されます。<u>エゼキエル 34:26</u> 私は彼らと、私の丘の周りの場所を祝福とし、その季節にしたがって大雨を降らせる。祝福の大雨があるようになる。 L. 私たちは彼の牧養を経験することを通して、神の臨在を持ちます。私たちは彼との一の中の交わりにおいて、私たちが彼のものであり、彼は私たちのものであって、神と人とがミングリングされます。<u>エゼキエル 34:30</u> こうして、彼らは、私、エホバ・彼らの神が彼らと共におり、彼ら、イスラエルの家が私の民であることを知ると、主エホバは告げられる。</p>
<p>III. キリストは良い牧者、大牧者、牧者の長、私たちの魂の牧者です:</p>	<p>A. 主イエスが良い牧者として来たのは、私たちが命を得、しかも豊かに得るためです: 1. 彼は、彼の魂の命、すなわち人の命を捨てて、彼の羊のために贖いを完成し、彼らに彼のゾーエの命、すなわち彼の神聖な命にあずからせました。 2. 彼は、彼の羊を囲いから導き出して、養う場所である牧場としてのご自身の中へと入らせます。そこにおいて彼らは、彼を自由に食べ、彼によって養われます。 3. 主は彼の牧養の下で、ユダヤ人信者と異邦人信者を一つの群れ(召会、キリストのからだ)へと形成しました。</p>

ヨハネ 10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。私に来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。11 私は良い牧者である。良い牧者は羊のために自分の命を捨てる。I ペテロ 2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、あなたがたの魂の牧者また監督者に立ち返ったのです。	B. 神は「永遠の契約の血による羊の大牧者である私たちの主イエスを」死人の中から引き上げました(ヘブル 13:20):	1. 永遠の契約は、牧養することによって新エルサレムを究極的に完成することです。 2. 永遠の契約は新しい遺言の契約であり、それは羊の群れ、すなわち召会を得るためです。召会はキリストのからだという結果となり、新エルサレムにおいて究極的に完成します。 3. 主は大牧者として、新契約の内容を私たちの実際とします。
	C. キリストは牧者の長として、諸召会の長老たちを通して彼の羊の群れを牧養します:	1. 長老たちの牧養がなければ、召会は建造されることはできません。 2. 長老たちの牧養は、彼らを通してのキリストの牧養であるべきです。
	D. 霊なるキリストは私たちの魂の牧者として、私たちの内側の状態を監督し、私たちの内なる存在の状況を顧みます:	1. 彼が私たちを牧養するのは、私たちの魂の益を顧みることによって、また私たちの内なる存在の状態を監督することによってです。 2. 私たちの魂はとても複雑であるので、私たちは、私たちの霊の中におられる命を与える霊であるキリストに、私たちの魂の中で私たちを牧養していただき、私たちの思い、感情、意志、私たちの問題、必要、傷を顧みていただくことを必要とします。 3. 主は私たちの魂の牧者として、私たちの魂を回復し、私たちの魂に安息を与えます。マタイ 11:28-29 すべて労苦し重荷を負っている者は、私に來なさい。そうすれば、私はあなたがたに安息を与える。私は心の柔和なへりくだった者であるから、私のくびきを負い、私から学びなさい。そうすれば、あなたがたは魂に安息を見いだす。
IV. ヨハネ第 21 章は、牧養についての章であり、ヨハネによる福音書の完成また総括です。牧養は、ヨハネによる福音書のかぎです:	A. ヨハネによる福音書は、キリストが来て、私たちをはぐくみ養うことによって、私たちの命となることについての書です。人々をはぐくむことは、彼らを幸いにし、喜ばせ、心地よくすることであり、人々を養うことは、すべてを含むキリストを彼らに供給することです。	
	B. 主は復活の後、ペテロを牧養し、またペテロに主の小羊を養うよう、また主の羊を牧養するよう託しました。これは使徒たちの務めとキリストの天の務めを合併して、神の羊の群れ、すなわち召会を顧みることであり、それはキリストのからだという結果となります(ヨハネ 21:15-17):	1. 使徒たちは昇天したキリストの委託を受けて、彼と協力し、神の新約エコノミーを完成します。 2. 牧養に関して、使徒たちの務めは、キリストの天の務めに協力して、キリストが天において行なっていることを地上で行ないます。
V. I ペテロ第 5 章 2 節は、神にしたがって神の群れを牧養することについて語っています: I ペテロ 5:2 あなたがたの間の神の群れを牧養しなさい。強いられてではなく、自ら進んで、神にしたがって監督し、卑しい手段で利得を求めることによってではなく、熱心に監督しなさい。	A. 「神にしたがって」は、私たちが神を生きることを意味します。	
	B. 私たちが神と一であるとき、私たちは神となり、他の人たちを牧養することにおいて、私たちは神です。	
	C. 神にしたがって牧養することは、神の性質、願い、方法、栄光にしたがって牧養することであって、私たちの好み、興味、目的、個性にしたがって牧養することではありません。	
	D. 神にしたがって牧養することは、神が彼の属性において何であるかにしたがって牧養することです。	
E. 私たちは神にしたがって牧養するために、命、性質、表現、機能において神となる必要があります:	1. 私たちは神聖な命で満ちあふれ、三一の神を源泉、泉、川として享受して、神聖な命の総合計となり、さらには神聖な命そのものとなる必要があります。 2. 私たちは愛、光、義、聖という神の属性において神となる必要があります。 3. 私たちはキリストの複製、神の表現となる必要があります。それは私たちが牧養するときに神を表現し、個性と特異性を伴う自己を表現しないためです。 4. 私たちは機能において神となり、神が何であるかにしたがって、また神のエコノミーにおける彼の目標にしたがって、神の群れを牧養する必要があります。 エペソ 4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わされ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。	
VI. 私たちは永遠にわたって、キリストを永遠の牧者として経験し、享受します: 啓 7:16 彼らはもはや飢えることはない。もはや渇くこともない。太陽もいかなる熱も彼らを打つことはない。17 御座の中央にいる小羊が彼らを牧養し、命の水の泉に導いてくださり、また神が彼らの目から、涙をことごとくぬぐい取ってくださるからである。	A. キリストは私たちの永遠の牧者として、私たちを命の水の泉としてのご自身の中へと導き、私たちに三一の神の永遠の分与を享受させます。	
	B. 命の水は私たちに供給され、涙の水はぬぐい取られます。	
	C. 永遠において、キリストの牧養の下で、涙もなく、飢えもなく、渇きもなく、享受だけがあります。	

経験:①主イエスは牧者として来て私たちの霊的な必要と人の必要を顧みられる:

エゼキエル 34:23 節は続けて言います、「私は彼らの上にひとりの牧者を立て、彼は彼らを養う。すなわち私のしもべダビデである。彼は彼らを養い、彼らの牧者となる」。ダビデはキリストを予表しています。キリストは真のダビデ、真の牧者であって、私たちを養い、私たちを満たし、満足させます。…キリストは私たちの牧者として、私たちを顧みます。その顧みは、私たちのすべての問題と責任を含みます。彼は霊的な事において私たちを顧みられるだけでなく、私たちの人の必要に関するすべての事においても私たちを顧みられます。これは、詩篇第 23 篇によれば、彼が私たちの生活のあらゆる面において私たちを顧みることを意味します。…主イエスは牧者として来るとき、王としても来られます。主が私たちの牧者として私たちを顧みることの結果、私たちは私たちの王としての彼に従い、彼の王職の下に服します。主は私たちの牧者であって王となられ、私たちの王であって牧者となります。一方で、彼は私たちを牧養されます。もう一方で、彼は私たちを管理されます。

中高生編

小学校を卒業して中学生になると、英語の授業が正式に始まります。また数学などの他の教科も難しくなります。中学生の勉強についていくことは、あなたの責任です。高校生になると、大学受験があるので、あなたの責任はさらに大きくなります。しかしあなたは責任が重くなるからと言って、恐れてはいけません。主は中高生のあなたのすべての問題と責任を顧みる牧者です。あなたは自分が直面する問題や責任から逃げてはいけません。そうではなく、大きくなった問題や責任を牧者である主イエスを経験する機会として捕らえてください。あなたは次のように祈ることができます。「おお、主イエスよ、中学生になったので、英語の授業の時間がたくさんあります。私は英語があまり得意ではありません。しかし英語の授業から逃げることもできません。主は私の牧者です。私を養い、私を導いて、英語に関する私の責任を果たすことができるように、私を助けてください。私は牧者である主に信頼します。アーメン」。

またあなたは、あなたを顧みている在職青年の兄弟姉妹や大学生の兄弟姉妹に聞いて交わってください。主は羊の大牧者であり、あなたを導いている兄弟姉妹もあなたの牧者です。

補 256 キリストを経験する—牧者として

1. エホバはわが牧者、みどりのまき場へ、
いこいのみず辺へと、われをみちびかる。
(復) いのちの日のかぎり、良きもの、また
慈愛が私を追いかける。
いのちの日のかぎり、良きもの、また
慈愛が追いかける。
私は永遠に主のいえ住む、
私は宴せきをもうけます。
いのちの日のかぎり、良きもの、また
慈愛が追いかける。
2. わがほく者はまき場、
またいこいのみず。
主の豊富、霊のなかで、
食べ飲み享受する。
3. わがたましい回ふくし、
義のみち、みちびく。
死のかけ、たに歩むも、
主ともにおられる。

②長老や責任者の牧養は召会建造に不可欠である:

キリストは牧者の長として、諸召会の長老たちを通して羊の群れを牧養します。すべての長老は追従する牧者です。かしらとしてのキリストは牧者の長です。…私たちが牧養するとき、キリストが私たちを通して牧養すべきです。…すべての長老は、旧創造の中の自分自身によってではなく、復活の中で牧者の長としてのキリストによって、召会を牧養することを学ばなければなりません。

長老の牧養がなければ、召会は建造されることができません。すべての信者は、彼らの霊的な成長の段階にかかわらず、牧養を必要とします。集会の後に簡単な言葉を一人の聖徒に語りかけることでさえ、その人を慰め、励まし、強めるでしょう。

長老たちは「自ら進んで、神にしたがって」監督すべきです(I ペテロ 5:2)。神にしたがって監督するとは、神の性質、願い、方法、栄光にしたがって監督することを意味するのであって、人の好み、興味、目的にしたがって監督することではありません。長老は自分の意見や、観念や、好き嫌いにしたがって監督すべきではありません。むしろ、彼らは神の選択、願い、意図、好みにしたがって監督すべきです。長老は完全に神の思想、感覚、意志、選択にしたがって、召会を監督しなければなりません。彼らは神の好き嫌いにしたがって監督しなければなりません。

在職青年編(特に職業と結婚について):

在職青年にとって、最大の関心事は職業と結婚です。これらのことは神にとっても重要なことですので、召会の責任者、指導者たちが、神に従って彼らを牧養する時、これらの問題を避けることはできません。また、在職青年は、これらの問題を導いている兄弟姉妹と交わることを恥ずかしがって、避けてはいけません。職業と結婚において、自分の献身を更新し、キリストと召会、羊の大牧者と追従する牧者に開き、導かれるなら、あなたの将来は大いに祝福されるでしょう。あなたはこれらの実際的な事柄を主に委ね、主に導いていただく必要があります。あなたは次のように祈ることができます、

「主イエスよ、私には召会生活に相応しい職業が必要です。特に、私は毎週兄弟姉妹と共に主を記念するために、主日を聖別する必要があります。また、極端に残業の多い職業や極端に収入の少ない職業も相応しくないとします。私はこのことで自分自身に信頼するのではなく、主と主のからだ召会に信頼します。また、私も職業をあなたに捧げます。私の職業が召会建造のために用いられますように。アーメン!」。「主イエスよ、あなたが私の将来の結婚を祝福し、導いてください。職業については転職も可能ですが、結婚については変更することが基本的には不可能です。私は結婚について真剣にあなたの御前に出ます。主が私に定められた人に出会わせてください。そして、結婚生活でキリストと召会を証しすることができますように。アーメン!」。

I ペテロ 5:5 同じように、若者たちよ、年長者たちに服従しなさい。またあなたがたはみな、互いに謙そんの帯を締めなさい。なぜなら、神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。6 ですから、神の力ある御手の下にへりくだらされなさい。それは時至って、彼があなたがたを高く上げてくださるためです。7 あなたがたの心配事をすべて、神に投げてください。なぜなら、あなたがたに関することを、彼は心にかけてくださるからです。

③ヨハネ福音書第1章におけるマイルストーン(BSG 編): by 神大 BSG OB/OG
ヨハネ 1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。
29 その翌日、ヨハネはイエスが自分の所に来られるのを見て言った、「見よ、世の人の罪を取り除く神の小羊！」。
32 またヨハネは証しをして言った、「私はその霊が鳩のように天から下って、彼の上にとどまるのを見た」。

ヨハネ福音書第1章におけるマイルストーンは、1節と14節の「神であった言が肉体となった」、29節の「世の人の罪を取り除く神の小羊」、32節の「その霊が鳩のように天から下って、彼の上にとどまる」、です。

言が肉体となったとは、神が人となったことを示しており、この方はイエス・キリストです。イエス・キリストは、神の幕屋です。それは旧約の時代、幕屋が神の住まいであったように、イエス・キリストは神がその中に住まわれている人でした。この方は、三十三年間地上で神を内側に住まわせていた人として、恵みと実際に現し出しました。神の御計画にとって、神が肉体を取られることは、神の万物の創造よりもさらに重要なことでした。

この肉体を取られた神は十字架につけられました。それは罪人の身代わりに死に、罪人の罪を取り除くためです。罪を犯したのは私たちですが、罪のない方イエス・キリストは、私たちの身代わりに十字架で死に、「世の人の罪を取り除く神の小羊」となられました。

最後にイエス・キリストは、身代わりに十字架上で死んだ後、死からよみがえり、鳩で予表された霊となられました。霊は人に命を与えるので、命を与える霊とも呼ばれます。私たち罪人は、罪が取り除かれた後、神の命が分け与えられる必要があります。

イエス・キリストは、三つの重要なマイルストーンを経過されました。i) 神が肉体となられた、ii) 肉体となられた神、イエス・キリストは、十字架上で私たちを救うために死なれた、iii) イエス・キリストは、十字架で死んだ後、死からよみがえり、命を与える霊となり、人の中に神の命を分け与えることができます。

この3つのマイルストーンを認識した後、次の聖書の言葉を読んでください。
ヨハネ 10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。

11 私は良い牧者である。良い牧者は羊のために自分の命を捨てる。
盗人が来る目的は、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためです。しかし主が来られることは、良い牧者が来ることであり、羊(私たち)に命を得させ、豊かに得させることができます。主イエスは今日、命を与える霊として、今、ここに来ておられます。それは、羊であるあなたが命を得、豊かに得るためです。

主イエスは、まず十字架で死なれました。それはあなたの罪の問題が解決され、あなたが平安を得るためです。次に主イエスは死からよみがえり、命を与える霊となられました。それはあなたが神の命を得、満足を得るためです。キャンパス・ライフが祝福されるために、あなたには平安と満足が必要です。次のヨハネ第1章の言葉を読んでください。

ヨハネ 1:12 しかし、すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた。

13 これらの人は血からではなく、肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのである。

人の罪が赦され、人が神の命を得て神から生まれることは、その人の家柄がいいからではありません。また、誰かの肉の意志(墮落した意志)によるのでも、誰かの人の意志(良い意志)にもよりません。それは神が三つのマイルストーンを経過したことを知り、それを受け入れることだけによります。ヨハネ第1章を読んで、あなたも主イエスの御名を呼び、神があなたのために用意された罪の赦しと、神の命の分与を単純に受け入れることができますように。あなたは家柄は優れているかもしれませんが、神の家族は最も祝福に満ちていますので、神の訪れを受け入れ、神をあなたの心に住まわせてください。神の愛に感謝します。

Gospel – Redemption(Hymn 998)

Christ has become one with sinners,
Sharing in all of our living;
Crucified even for sinners,
Glorious life to us giving.

(Chorus)

Christ Jesus came for us,
Christ Jesus died for us;
O yes, for us, for us, for us.
Christ came and died for us.

The Triune God – His process (Tune:Hymns, 319)

Christ has put on human nature
And become a man like me.
He has died upon the cross that
I from Adam might be free.
He has risen and as Spirit
He has come to live in me,
That according to God's purpose
He my very life may be.

キリストを経験する—牧者として(補 256)

エホバはわが牧者、みどりのまき場へ、
いこいのみず辺へと、われをみちびかる。
いのちの日のかぎり、良きもの、また
慈愛いが私を追いかける。
いのちの日のかぎり、良きもの、また
慈愛いが追いかける。
私は永遠に主のいえに住む、
私は宴せきをもうけます。
いのちの日のかぎり、良きもの、また
慈愛いが追いかける。

The Lord is my Shepherd forever(Hymn 1170)

The Lord is my Shepherd forever,
He maketh me down to lie,
He leads me beside the still waters
O how He does satisfy!
Surely goodness and mercy shall follow me
All the days, all the days of my life;
Surely goodness and mercy shall follow me
All the days, all the days of my life.
And I shall dwell in the house of the Lord forever,
And I shall feast at the table spread for me;
Surely goodness and mercy shall follow me
All the days, all the days of my life.